

都道府県 コード	問1 昨年度から実施 時間・回数数は変化し ましたか？ 1: 回線数の増加 2: 時間帯の延長 3: 変化なし	問2 来年度、事業の 拡大計画（相談時間の 延長、回線数の増加等） はありますか？ 1: ある 2: ない 3: 未定	問3 電話相談の際、 受診可能な医療機関を 照会していますか？ 1: 紹介している 2: 紹介していない	問4 事業費		問5 相談員は充足 していますか？ 1: 充足している 2: 不足している 3: 民間委託なので 不明	問6 相談員の研修につ いて 1: 実施している 2: 実施していない 3: 民間委託なので実施 していない	問7 #8000の広報について			問8 「電話相談内容記録・相 談対応マニュアルソフトウェ ア」の活用 1: すでに活用している。 2: 今後活用して予定 3: 活用する予定はない 4: 修正すれば活用できる 5: 民間委託なので回答不可 6: その他
				H25年度当 初(千円)	うち、市町村 負担(千円)			実施している場 合の年間回数	実施している場 合の広報内容	その他	
01 北海道	3	1	2	12,315	0	1	1	1	1,3	北海道又は各自治体が 制作する、子どもの急 患に関する小冊子等に 掲載	6 今後、相談員と協議の 上、活用について検討 予定
02 青森県	3	2	1	8,155	0	3	3		1,1,3	ポスター及びチラシの 掲示及び配布を関係機 関に依頼	5
03 岩手県	3	2	1	12,241	0	1	1	14	1,1,3	ポスターによる周知	1
04 宮城県	3	2	1	32,415	0	1	1,2,3		1,1,3	チラシを作成し、医療 機関や市区町村、医師 会等へ配布して掲示や 母親への配布を依頼し ている	6 今後委託者等と調整・ 検討する予定
05 秋田県	3	2	1	9,436	0	1	1	4	1,1,2,3	ポスター・ステッカー 配布、地元紙の相談窓 口に掲載、 地元子育て支援雑誌に 掲載、県広報紙掲載、 県政テレビ広報番組に て相談室を掲載	6 インストールしたが正 しく動作しない
06 山形県	1	2	1	11,197	0	1	1	3	1,1,2,3	県広報媒体（新聞 等）、みんなで救急医 療考えるNW事業	3
07 福島県	3	2	1	16,840	0	3	3		1,1,3	テレビ・ラジオ30秒ス ポット放送、広報誌等 への掲載	5
08 茨城県	2	3	1	21,946	0	1	1	随時（OJT）	1,1,3	県内の小児科や保育所 などへのチラシの配布	6 使い方が分からなかつ た
09 栃木県	2 2 現行：毎日18時～23時 変更後：月～土：18時 ～翌8時 日祝：8時～翌8時	2	2	6,344	0	1	1	1	1,1,3	子ども救急ガイドブ ックの配布、適正受診 リーフレットへの掲載	6 内容の修正によつて は、活用できるか検討 する（独自の対応内容 により委託先から検査 を受け、県による集計 を行っているため）
10 群馬県	3	3	2	18,301	0	3	3		1,1,3	地元新聞への定期広告 掲載	5
11 埼玉県	3	3	2	81,725	0	1	1	1	1,1,2,3	広報誌等での掲載	3
12 千葉県	3	2	1	38,872	0	1	2		1	3: 地域誌等への掲載	5
13 東京都	3	2	2	34,091	0	2	3		1,1,3	区市町村を通じて母子 健康手帳交付時にカードを配布	5
14 神奈川県	3	2	1	16,728	0	3	3		1,1,3	母子手帳への掲載	5
15 新潟県	2	3	2	5,000	0	1	2		1,1,3	「救急の日」に合わせ た市町村へのチラシの 配布・テレビやラジオ による広報等	6 今後民間委託を予定し ているため、回答でき ない。
16 富山県	3	2	1	9,097	0	3	3		1,1,2,3	救急医療機関の受診や #8000について紹介し た冊子を作成し、配布 している。	5

都道府県 コード	問9 平成28年度から予定の「電話相談内容記録・相談対応マニュアルソフトウェア」を利用した全国集約への協力 1: 協力できる 2: 協力できない 3: どちらともいえない 4: 民間委託などで回答不可	問10 全国センター化のイメージ 1: 自治体が構築している個別のシステムを継承し、すべての相談を一か所に対応 2: 自治体の実態している#8000事業を構築 3: 事業が上手く行われているので、全国センター化は不要 4: その他	問11 #8000の転送装置は何ですか？ また容易に転送は可能ですか？			問12 賠償保険に加入していますか？ 1: 加入している 2: 加入していない	問13 昨年度の相談対応のクレーム 1: あった 2: なかった あった場合の件数は？	
			その他	装置について	容易に転送ができるか			その他
01 北海道	3 (問8の活用の検討結果による)	1	不明			1	1, 2, 3	
02 青森県		4	4 今後検討	NTTボイスワープ	1	2	1	1
03 岩手県		1	2		3 転送機能はない	1	2	
04 宮城県		3	4 本県の#8000事業は、これまで整備してきたシステムで概ねうまくいっている。全国センターはコスト抑制・サービス向上等の利点が見込めなければ必要ない	タカコム (TAKACOM) CS-D49	2	1	1	1
05 秋田県		3	1	タカコム CS-D418	2	1	2	
06 山形県		2	4 時間帯の延長等を図っていくうえでは全国センター化も必要であるが、これまでの県医師会の全面的な協力を得て行っている経緯を尊重して進めていく必要がある	転送する装置はない	2	1	2	
07 福島県		4	1	(株) タカコム 音声応答転送装置 IVR-2430	1	1	2	
08 茨城県	2 (違いが分からなかったため)		4 県として統一した見解を議論していないため回答できない		3 不明	1	2	
09 栃木県		3	3		3 転送していない	1	2	
10 群馬県		4	2 現状では特段のイメージはない		3 民間の趣旨が不明です。相談場までの転送はNTT等の転送ダイヤルサービスなので装置は不要と思われる。相談場内での転送は受託業者内の設備のため不明です	2	1	1
11 埼玉県		2	3	テスコムアドバンス (株) TelsaZMAX AT-D39S II	2	1	2	
12 千葉県		4	4 これまで各自自治体が個別に整備してきたシステムを継承して、国が経費を負担して、すべての相談を一か所のセンター(#8000全国相談センター)で対応するような大規模なセンターの設立をイメージしている		3 千葉県医師会に直接入電している	1	1	不明
13 東京都		4	1		3 転送装置は使用せず、直接委託にかかるしくみとなっている	2		
14 神奈川県		4	1	NTTのボイスワープ機能を使い転送している	1	1	1	3
15 新潟県		4	1	音声応答転送装置IVR-630 (株タカコム) (※民間委託は、機器を撤去し、NTTボイスワープによる転送の予定)	1	1	2	
16 富山県		4	4 本県では回線数の不足等の問題は生じておらず、現行の実態形態で後援は無いが、サービスの質の維持・向上が図られ、かつ、業務効率化及び経費節減に資するものであれば、全国センターの設立に賛成である。仮に設立する場合、業務効率化等の観点からは、各都道府県の業務すべてを集約する上記1の形態が適当と考えられる。なお、運営経費については、各都道府県の区分負担だけでなく、国においても一定程度負担していただきたい	不明	2	2 受託業者が加入	2	

都道府県コード	都道府県名	問1 昨年度から実施時間・回数数は変化しましたか？ 1: 回数の増加 2: 時間帯の延長 3: 変化なし	問2 来年度、事業の拡大計画（相談時間の延長、回数の増加等）はありますか？ 1: ある 2: ない 3: 未定	問3 電話相談の際、受診可能な医療機関を照会していますか？ 1: 紹介している 2: 紹介していない	問4 事業費		問5 相談員は充足していますか？ 1: 充足している 2: 不足している 3: 民間委託なので不明	問6 相談員の研修について 1: 実施している 2: 実施していない 3: 民間委託なので実施していない	問7 #8000の広報について			問8 「電話相談内容記録・相談対応マニュアルソフトウェア」の活用 1: すでに活用している。 2: 今後活用して予定 3: 活用する予定はない 4: 修正すれば活用できる 5: 民間委託なので回答不可 6: その他
					H25年度当初(千円)	うち、市町村負担(千円)			実施している場合の年間回数	実施している場合の広報内容	その他	
17	石川県	3	2	1	11,501	0	3	3	1, 1, 2, 3	チラシ・リーフレットを医療機関や保育園等に配布	5	
18	福井県	3	2	1	12,856	0	1	1	1	3 県で独自で発行している小児救急パンフレットに記載	3	
19	山梨県	2	2	1	7,519	0	1	2	1, 1, 2		5	
20	長野県	3	3	1	12,162	0	1	3	1, 1, 3	広報カード配布、ラジオCM、広報紙掲載	6 未定	
21	岐阜県	3	3	1	21,676	0	3	3	1, 1, 3	県医師会においてPR冊子の配布（県補助事業）	6 承知していない	
22	静岡県	3	1	1	41,853	0	3	3	1, 1, 2, 3	関係団体を通じて広報資料を配布	5	
23	愛知県	2 (27年1月より延長予定)	3	2	18,490	0	3	3	1, 1, 3	マグネットカードの作成・配布	5	
24	三重県	2	2	1	16,246	0	3	3	1	1	5	
25	滋賀県	3	2	1	19,772	0	3	3	1, 1, 3	SNS（滋賀県Facebookページ）に掲載	5	
26	京都府	1	3	1	17,010	0	3	3	1, 1, 2, 3	広報用カードを保健所等に配架	5	
27	大阪府	1 H25.9より20時から23時の時間帯につき2名体制→3名体制に変更	2	1	40,805	0	1	1	6	1, 1, 3	相談員が民間団体の子育て支援講演師をしている	3
28	兵庫県	3	3	1	25,468	0	2	1	3	1	6 まだ検討できていない	
29	奈良県	3	2	1	23,389	0	3	3	1, 1, 2, 3	医療機関等でのポスター掲示・テレビCM他	5	
30	和歌山県	3	3	2	8,358	0	3	3	1, 1, 3	啓発用マグネットカード・リーフレットを1ヶ月検診時に配布	5	
31	鳥取県	3	2	1	4,287	0	3	3	1	3 市町村の乳幼児検診等に啓発用マグネットを配布しています。また、チラシやハンドブック、ホームページにも#8000について記載しています	5	
32	島根県	3	1	1	5,214	0	3	3	1, 1, 3	冊子配布	5	
33	岡山県	2	2	1	10,404	0	1, 3	1	2	1, 1, 2, 3	保健所や市町村窓口及び健診会場等で対象者に配布	5, 6 相談員へ入力様式を配属させる予算確保が困難です。紙面での活用も検討しましたが、煩雑になることが予測され断念しました。また、相談員が気持立てて相談内容を伝えてくれることが少なく、チャートも相談場面で活用しにくい印象があります

都道府県コード	問9 平成28年度から予定の「電話相談内容記録・相談対応マニュアルソフトウェア」を利用した全国集計への協力 1: 協力できる 2: 協力できない 3: どちらともいえない 4: 民間委託なので回答不可	問10 全国センター化のイメージ 1: 自治体が構築している個別のシステムを構築し、すべての相談を一元対応 2: 自治体の実態している#8000事業を構築 3: 事業が上手く行われているので、全国センター化は不要 4: その他	問11 #8000の転送装置は何ですか？ また容易に転送は可能ですか？ 1: 容易に転送可能 2: 業者による作業が必要 3: その他			問12 賠償保険に加入していますか？ 1: 加入している 2: 加入していない	問13 昨年度の相談対応のクレーム 1: あった 2: なかった あった場合の件数は？		
			その他	装置について	容易に転送ができるか		その他	あった場合の件数	
17 石川県	4	1	NTT西日本 ボイスワープ	1		2	1	2	
18 福井県	3	1	タカコム IVR-2430	2		1	2		
19 山梨県	4	4	全国センターの設置については、必要性の有無も含め未検討であり回答出来ない	不明	3 不明	1	1	1	
20 長野県	4	2	チェスコム/テレサZmax	2		1	2		
21 岐阜県	4	4	専門業者に全面委託しているため、その仕様により、全国相談センターに業務をお願いしたい	通信業者のボイスワープ機能を利用	1	1	2		
22 静岡県	4	2			3 ネットワーク上のサービス（ボイスワープ）を使用しているため、対象となる機器等はない	2	1	1	
23 愛知県	4	1	転送装置 J n n o V o i c e ー 式（プログラム、システム監視ソフト等）	2		1	2		
24 三重県	4	1	ボイスワープ	2		2	2		
25 滋賀県	4	2	不明（NTTボイスワープ）	2		1	不明		
26 京都府	4	2	ボイスワープ	1		1	1	1	
27 大阪府	2	3	行うとしても、「地域ブロック単位（例：近畿ブロック）」でのセンターが望ましい	電話会社にて#8000から転送したものを直接受け替えているため、転送のための装置はない	3	転送のためには装置の購入等が必要となる	1	1	2
28 兵庫県	3	2	不明	3	3 不明	1	1	3	
29 奈良県	4	1	装置等無し。NTT西日本 ボイスワープサービスを利用	1		2	2		
30 和歌山県	4	1		2		1	2		
31 鳥取県	4	2		3	3 特設転送していません。#8000を紹介していません。	2	2		
32 島根県	4	2		3	3 民間委託により不明	2	2		
33 岡山県	3, 4	1	NTTNetcommunitySYSTEM NX α TAKACOM IVR-2430 INS:CONNECT	2		1	1	3	

都道府県 コード	問1 昨年度から実施 時間・回数は変化し ましたか？ 1: 回線数の増加 2: 時間帯の延長 3: 変化なし	問2 本年度、事業の 拡大計画（相談時間の 延長、回線の増加等） はありますか？ 1: ある 2: ない 3: 未定	問3 電話相談の際、 受診可能な医療機関を 紹介していますか？ 1: 紹介している 2: 紹介していない	問4 事業費		問5 相談員は充足 していますか？ 1: 充足している 2: 不足している 3: 民間委託なので 不明	問6 相談員の研修につ いて 1: 実施している 2: 実施していない 3: 民間委託なので実施 していない	問7 #8000の広報について			問8 「電話相談内容記録・相 談対応マニュアルソフトウエ ア」の活用 1: すでに活用している。 2: 今後活用して予定 3: 活用する予定はない 4: 修正すれば活用できる 5: 民間委託なので回答不可 6: その他	
				#25年度当 初(千円)	うち、市町村 負担(千円)			実施している場 合の年間回数	実施している場 合の広報内容	その他		その他
34 広島県	3	3	1	1	41,280	14,362	3	1,2,3	1,1,3	ポスター配布等	5,6	
35 山口県	2	2	2	1	11,408	0	1	1	1,1,2,3	テレビ、ラジオ、県 (市町) 広報紙への掲 載、関係機関及び市町等関 係機関へのちらし (カード・シール) の 配布 等	5,6	
36 徳島県	3	2	2	1	15,750	0	3	3	1,1,2,3	冷蔵庫に貼付できるマ グネットを作成し、母 子手帳等の配布時に市 町村で配布してもらっ ている	5	
37 香川県	3	2	2	1	20,321	0	3	3	1,1,2,3	母子手帳用の啓発シ ールの配布	5	
38 愛媛県	3	3	3	1	16,954	0	3	3	1	3 関係機関等へのテラ シ・ポスターの配布等	5	
39 高知県	3	2	2	2	8,570	0	1	1	2	1,1,2,3	テレビCMでの放映、ラ ジオでの広報、新聞広 告	3
40 福岡県	3	1	2	2	33,751	0	1	1	1	1,1,3	周知カードの配布	6
41 佐賀県	3	2	2	1	8,099	0	3	3	1,1,3	子供のケガ・急病対処 方法周知パンフレット に掲載している	5	
42 長崎県	3	2	2	1	13,438	0	3	3	1,1,3	市町における乳児訪問 事業実施時、母子手帳 交付時の広報カード配 布、関係医療機関等に おけるポスターの掲 示、県や市町の広報へ の掲載	5	
43 熊本県	3	2	2	1	9,265	0	1	2	1,1,3	各種イベント・研修 等での啓発グッズの配 布 ・市町村、医療機関等 へのポスター及び啓発 カード等の配布 ・広報媒体（テレビ、 ラジオ、新聞等）での 告知	6	
44 大分県	3	2	2	1	12,770	0	1	2	1,1,3	名刺サイズの広報カ ードの配布	6	
45 宮崎県	3	1	1	1	12,319	0	1	1	1	3 救急医療選別にテレビ やラジオを活用して広 報を実施	3	
46 鹿児島県	3	2	2	1	8,420	0	2	1	2	1 2か月に1回 3 小児救急電話相談カ ードを作成し、保健所 (母子手帳発行の際に 渡す)・産婦人科・小 児科に配布をしている (衛生)	6	
47 沖縄県	3	2	2	1	11,420	0	3	3	1	3 新聞(県内2紙)への広 告掲載	5	

都道府県コード	問9 平成28年度から予定の「電話相談内容記録・相談対応マニュアルソフトウェア」を利用した全国集計への協力 1: 協力できる 2: 協力できない 3: どちらともいえない 4: 民間委託なので回答不可	問10 全国センター化のイメージ 1: 自治体が構築している個別のシステムを統廃し、すべての相談を一つ所で対応 2: 自治体の実施している#8000事業を補完 3: 事業が上手く行われているので、全国センター化は不要 4: その他	問11 #8000の転送装置は何ですか？ また容易に転送は可能ですか？ 1: 容易に転送可能 2: 業者による作業が必要 3: その他	問12 賠償保険に加入していますか？ 1: 加入している 2: 加入していない	問13 昨年度の相談対応のクレーム 1: あった 2: なかった あった場合の件数は？	その他			
						装置について	容易に転送ができるか	その他	あった場合の件数
34 広島県	4	2	装置名称: 品番: メーカー ①P-FAサーバ : RS300-E7/RS4 : ASUS ②NASストレージ : TS-RXB.OTL/R5 : BUFFALO ③VoIP-GW : NVR500 : YAMAHA ④録音DVD作成端末 : DVD-R搭載端末 : NEC ⑤クラウド : _ : NTTデータ中国		1	1	1	業者による作業が必要だが、転送設定は容易に可能	
35 山口県	3	2	・名称: 音声FAXサーバ、品番: RS300-E8-RS4、メーカー: ASUS ・名称: マルチメディアボックス、品番: VS-411M白、メーカー: NTTデータ先端技術 ・名称: マルチメディアラックマウントキット、品番: VS-2301MB-RK、メーカー: NTTデータ先端技術		1	2		転送先の変更を行う場合は、システムに登録されている転送先電話番号の既定変更作業を業者が実施する	
36 徳島県	4	1	ボイスワープにより転送を行っている		1	2			
37 香川県	4	2	NTT西日本 (構内交換機)		1	1	1	1 数件	
38 愛媛県	4		NTT AT-D39S II		2	2	1	1 数件	
39 高知県	3	2, 4	株式会社タカコム コールシーケンサー CS-D418 通話録音装置 VR0160		1	2		業者に問い合わせをしていないので、詳細は不明	
40 福岡県	3	1	【福岡】 留守番電話装置 (AT-D770: タカコム) 音声応答装置 (AT-230-IVR: NTT西日本)、電話着信待たせ装置 (CS-D418: タカコム)、通話録音装置 (VR-D170A: タカコム)、電話機・FAX (P276SD: NTT西日本) 【北九州、八幡、飯塚】 音声応答装置 (AT-230-IVR: NTT西日本)、電話着信待たせ装置 (CS-D41: タカコム)、通話録音装置 (VR-D170A: タカコム)、電話機・FAX (NetcommunitySYSTEM BK: NTT西日本)		1	1	1	不明	
41 佐賀県	4	2	テェスコムインターナショナル株式会社 telcaZ MAX (B)型		2	2	1	2	
42 長崎県	4	1			1	2			
43 熊本県	3	4	現在の運営 (県より県庁舎へ委託) にて大きな問題は発生しておらず、また現時点で見直しも考えていないが、国や他県の動向について引き続き注視していきたい		2	2	1	2	
44 大分県	2	4	現時点では、協力機関の努力もあり、既存システムで対応できており、これに代わる全国センターについては必ずしも必要性を感じていないが、回線数不足で話中となる可能性を考慮するとこれを補完するセンターがあれば、効果的に運用できるものと考えている		3	2	1	2	業者による作業が必要であるが、固定の番号に転送するのであれば、一度設定すれば以降の作業は必要ない。転送先を曜日・時間毎に分ける必要がある場合は、都度メンテナンス作業が必要になる可能性がある
45 宮崎県	2	1	TAKACOM VR-D160W / TAKACOM CS-D418		2	2	1	2	
46 鹿児島県	3	4	運営協議会を開催しているため、協議会にて検討しなければならぬので、現在のところ未定		3	2	1	2	現在、転送電話で対応していない。 小児救急電話相談を設け、そこで電話に対応している
47 沖縄県	4	1			3	2	1	2	①NTT西日本4667、ドコモ、オレオレソフトバンクモバイルの各社とそれぞれ転送手続きを行っており、装置は使用している

都道府県アンケート

都道府県名 \_\_\_\_\_

ご担当者名 メールアドレス \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

問1 昨年度から実施時間・回線数は変化しましたか？

- 1 : 回線数の増加       2 : 時間帯の延長       3 : 変化なし

問2 来年度、本事業の拡大計画（相談時間の拡大、回線の増設等）はありますか？

- 1 : ある       2 : ない       3 : 未定

問3 電話相談の際、受診可能な医療機関を紹介していますか？

- 1 : 紹介している       2 : 紹介していない

問4 事業費について

H25 年度当初（千） \_\_\_\_\_

うち市町村負担 \_\_\_\_\_

問5 相談員は充足していますか？

- 1 : 充足している       2 : 不足している  
 3 : 民間委託なので不明

問6 厚生労働省がおこなっている講習会以外で、相談員の教育研修をおこなっていますか。

- 1 : 研修を実施している       2 : 研修を実施していない  
 3 : 民間委託なので実施していない

おこなっていれば、年に何回くらいですか？ \_\_\_\_\_ 回

問7 最近の内閣府の世論調査では、#8000 の周知度が 10%であるとの結果がでましたが、#8000 の広報活動を行っていますか。

- 1 : おこなっている       2 : おこなっていない

おこなっている場合、どのような方法でおこなっていますか。具体的に教えてください。

- 1 : ホームページでの掲載       2 : イベントでのチラシの配布  
 3 : その他 \_\_\_\_\_

問 8 研究班では昨年度に「電話相談内容記録・相談対応マニュアルソフトウェア」を作製して配布しましたが、これを活用することをご検討いただけましたか。

- 1 : すでに活用している。       2 : 今後活用していく予定がある  
 3 : 活用していく予定はない       4 : 修正すれば活用できる  
 5 : 民間委託なので回答できない  
 6 : その他 \_\_\_\_\_

問 9 平成 28 年度から、昨年度作製配布した「電話相談内容記録・相談対応マニュアルソフトウェア」を利用した全国集計を行うことを計画していますが、ご協力いただけますか。

- 1 : 協力できる       2 : 協力できない  
 3 : どちらともいえない       4 : 民間委託なので回答できない。

問 10 多くの自治体が全国センターの設立を希望しているため、平成 29 年度を目標に全国センター設立の計画案を研究班では作製しています。具体的な全国センターのあり方（イメージ）についてお尋ねします。

1 : これまで各自治体が個別に整備はしてきたシステムを破棄して、各自治体が経費を按分して、すべての相談を一か所のセンター（#8000 全国相談センター）で対応するような大規模なセンターの設立をイメージしている。

2 : これまで都道府県のご努力で整備された#8000 事業を補間するような全国センターをイメージしている。回線数の不足や深夜帯のみの対応代行をおこなうようなセンターをイメージしている。

3 : これまでの努力で#8000 事業はうまくいっているので、全国センターは必要ない。

4 : その他 \_\_\_\_\_

問 11 全国センター化するには、電話の転送システムを整備することが必要です。あなたの自治体の#8000 への電話は、どのような装置で相談対応者へ電話を転送していますか。（その装置のメーカー名、品番）。また、その装置では、容易に転送先をかえることが可能ですか。

装置のメーカー、名称、品番など  
\_\_\_\_\_

- 1 : 容易に転送可能である。       2 : 転送には業者による作業が必要である。  
 3 : その他 \_\_\_\_\_

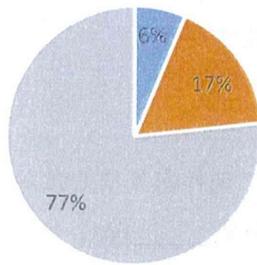
問 12 対応に問題があった場合に備えて、賠償保険に加入していますか？

- 1：加入している       2：加入していない

問 13 相談対応の仕方でもクレームや、問題になった事例は昨年度に何件ありましたか？

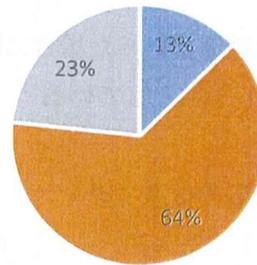
- 1：あった      あった場合には何件ありましたか？ \_\_\_\_\_ 件  
 2：なかった

問1 実施時間・回線数



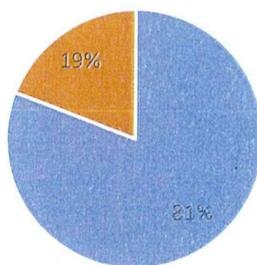
■ 回線数増加 ■ 時間帯延長 ■ 変化なし

問2 事業拡大計画の有無



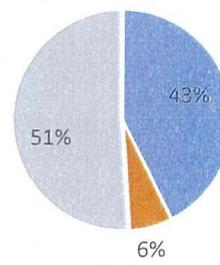
■ ある ■ ない ■ 未定

問3 受診可能医療機関の紹介



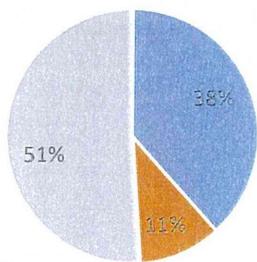
■ 紹介している ■ 紹介していない

問5 相談員は充足しているか



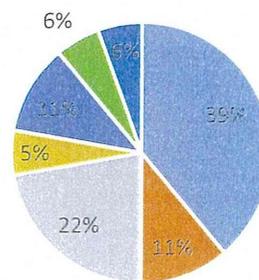
■ 充足している ■ 不足している  
■ 民間委託の為不明

問6 相談員研修実施の有無



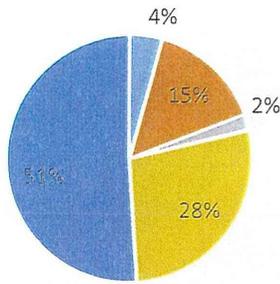
■ 実施している ■ 未実施 ■ 民間委託の為、未実施

問6-2 実施している場合の年間回数



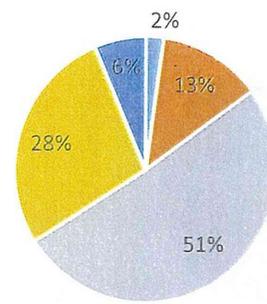
■ 1回 ■ 2回 ■ 3回 ■ 4回 ■ 6回 ■ 14回 ■ 随時(OJT)

問7 #8000の広報内容



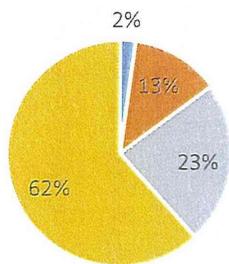
- ホームページ
- ホームページ、チラシ
- ホームページ、その他
- その他
- ホームページ、チラシ、その他

問8 ソフトウェアの活用



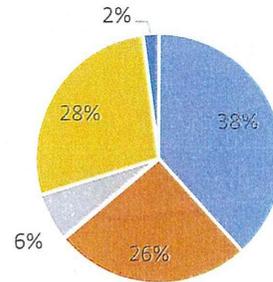
- 既に活用
- 民間委託の為回答不可
- 民間委託、その他
- 活用予定無し
- その他

問9 全国集計への協力



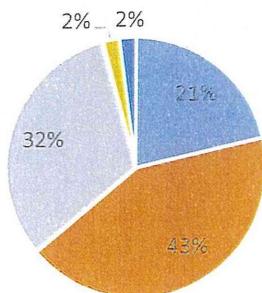
- 協力可
- 協力不可
- どちらともいえない
- 民間委託の為、回答不可

問10 全国センターのイメージ



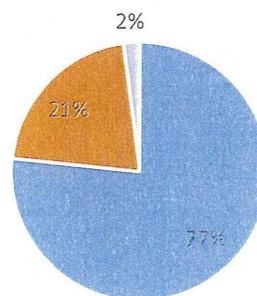
- 一か所に対応
- 全国センターは不要
- 未回答
- #8000事業を補完
- その他

問11 転送可能か



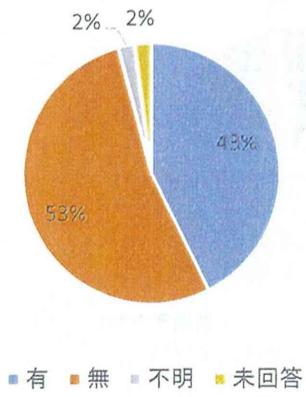
- 容易に可能
- 業者の作業が必要
- 転送機能はない
- 未回答
- その他

問12 賠償保険加入有無

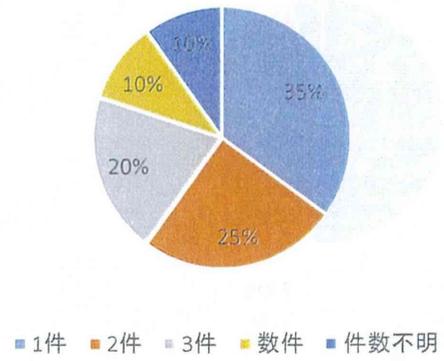


- 加入
- 未加入
- 未回答

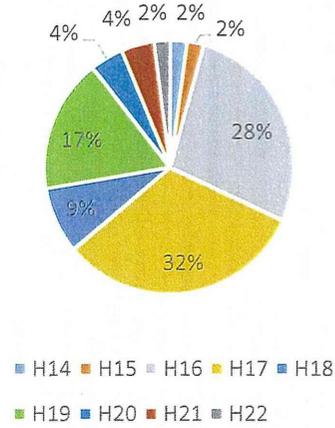
問13 クレーム有無



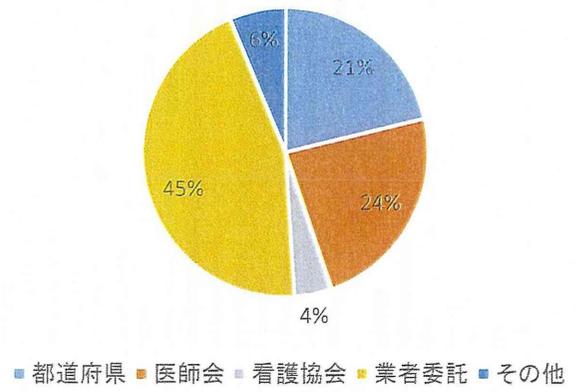
問13-2 クレームの件数



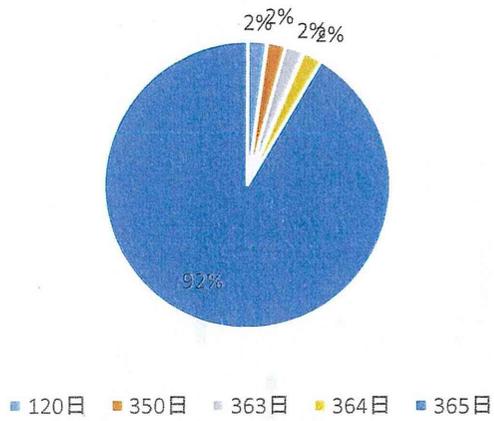
都道府県別事業開始年



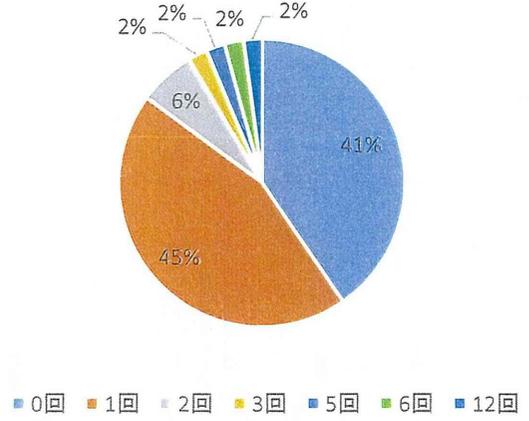
都道府県別実施主体



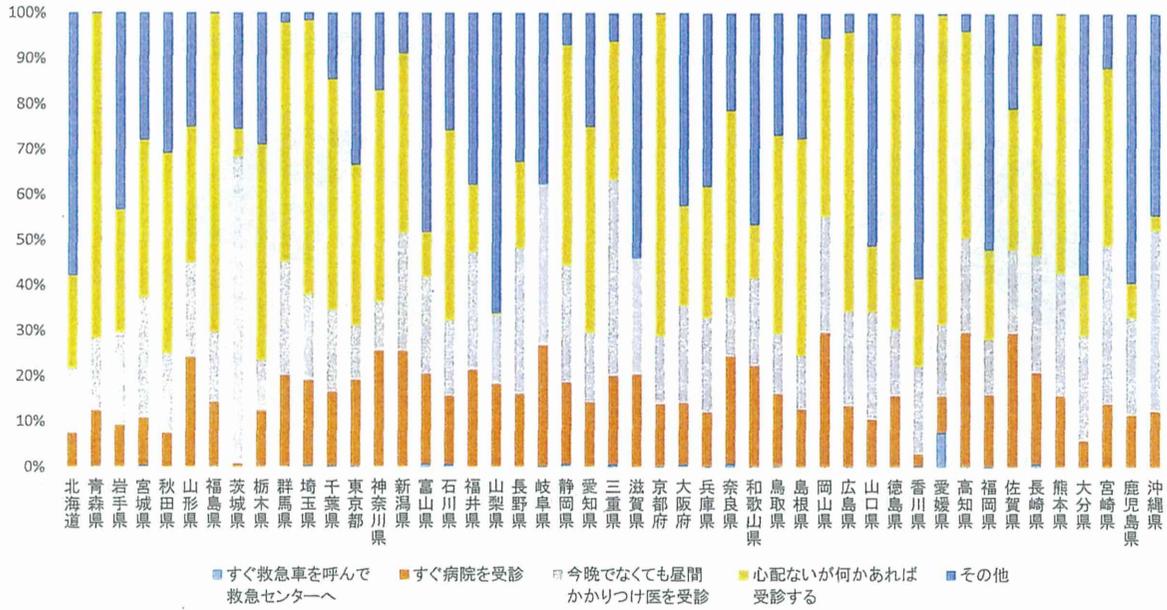
都道府県別運営日数



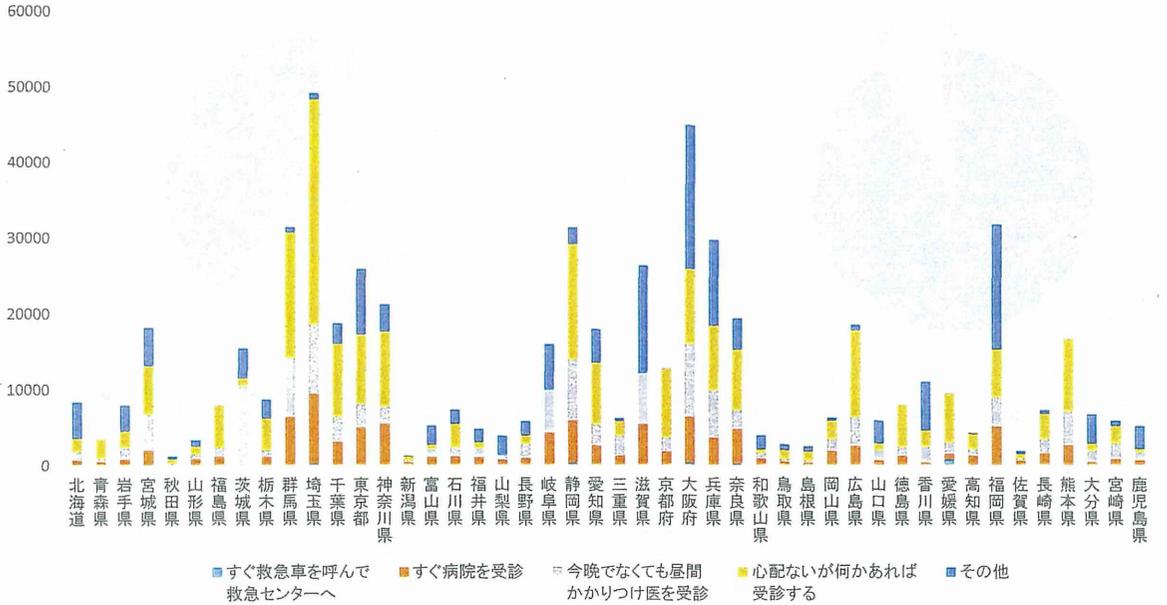
協議会年間開催回数



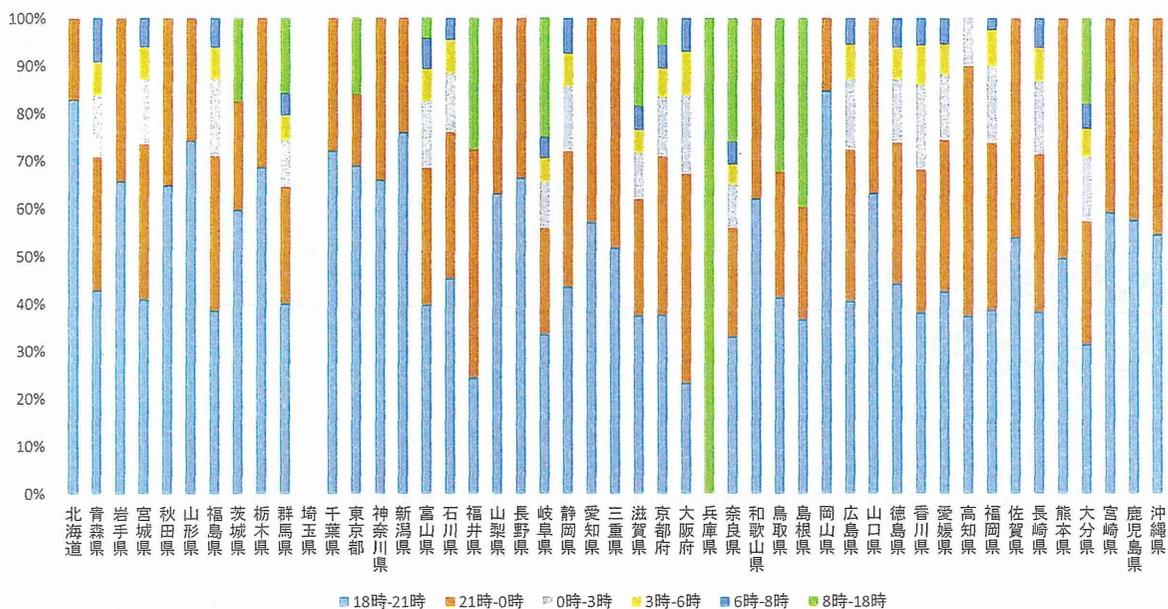
### 内容別相談件数割合



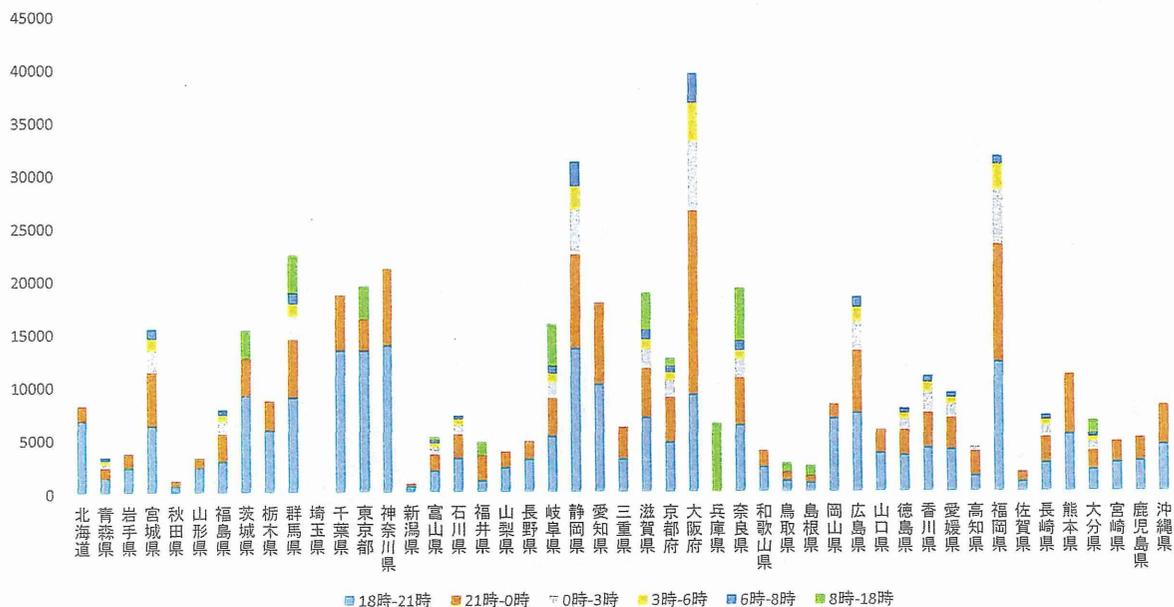
### 内容別相談件数内訳



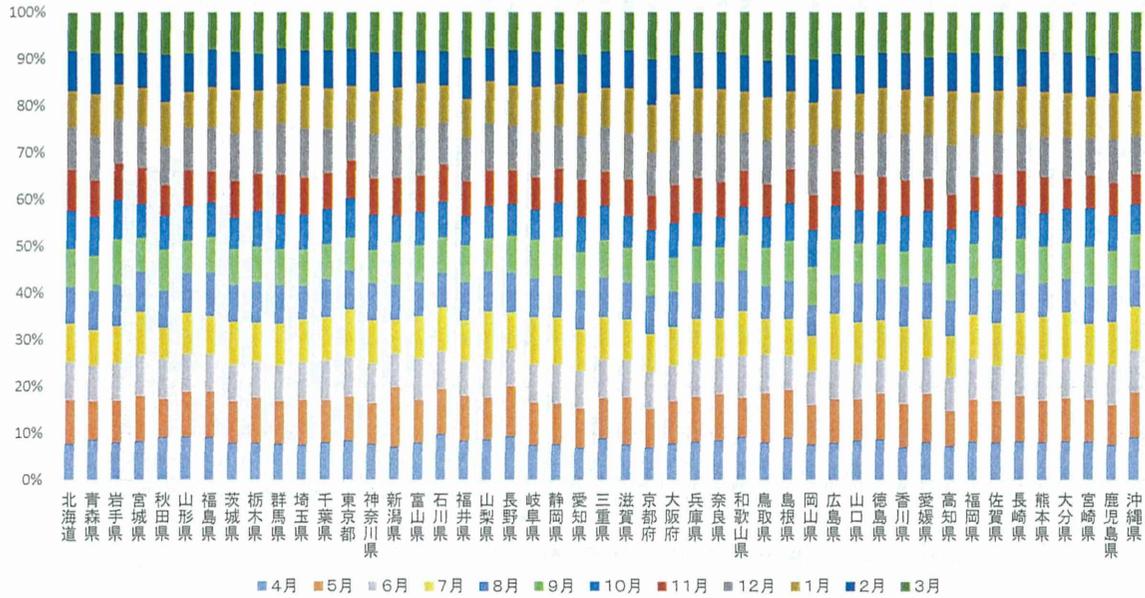
### 時間帯別相談件数割合



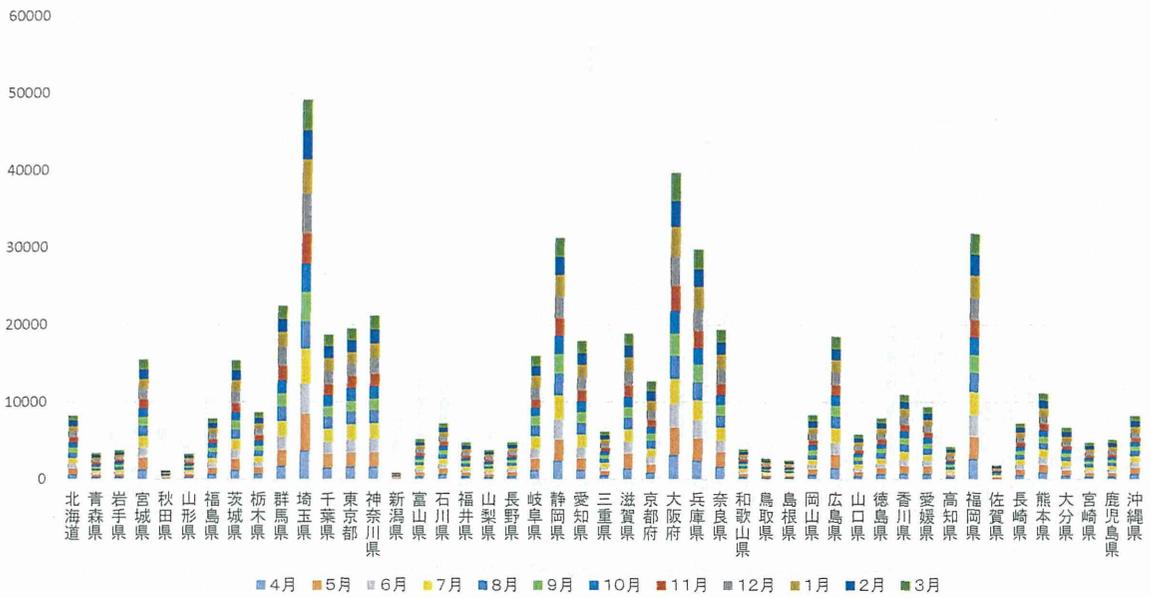
### 時間帯別相談件数内訳



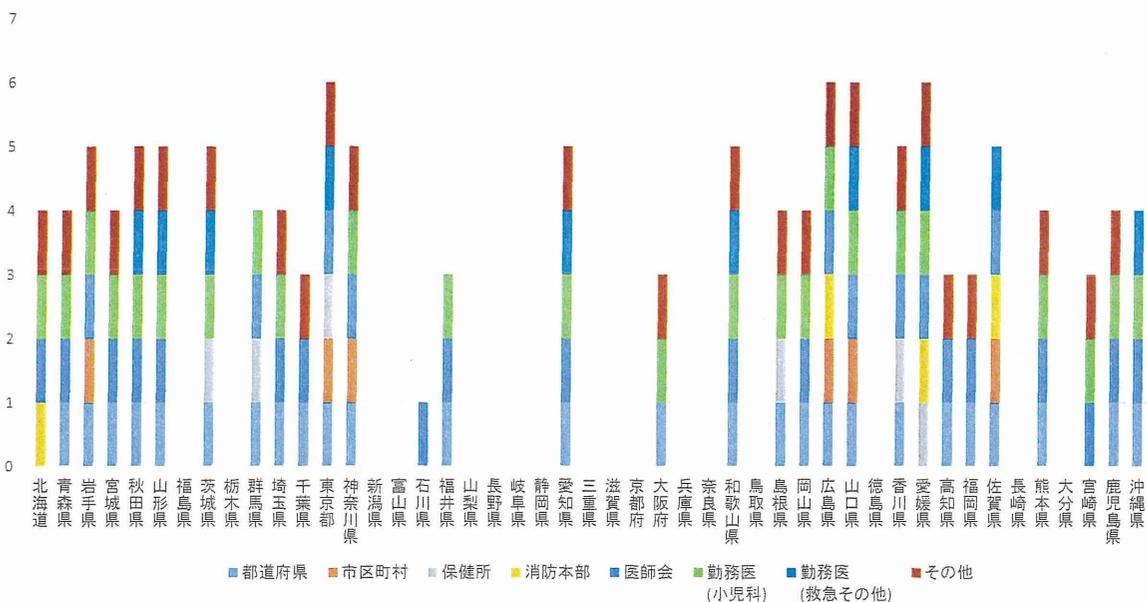
月別相談件数割合



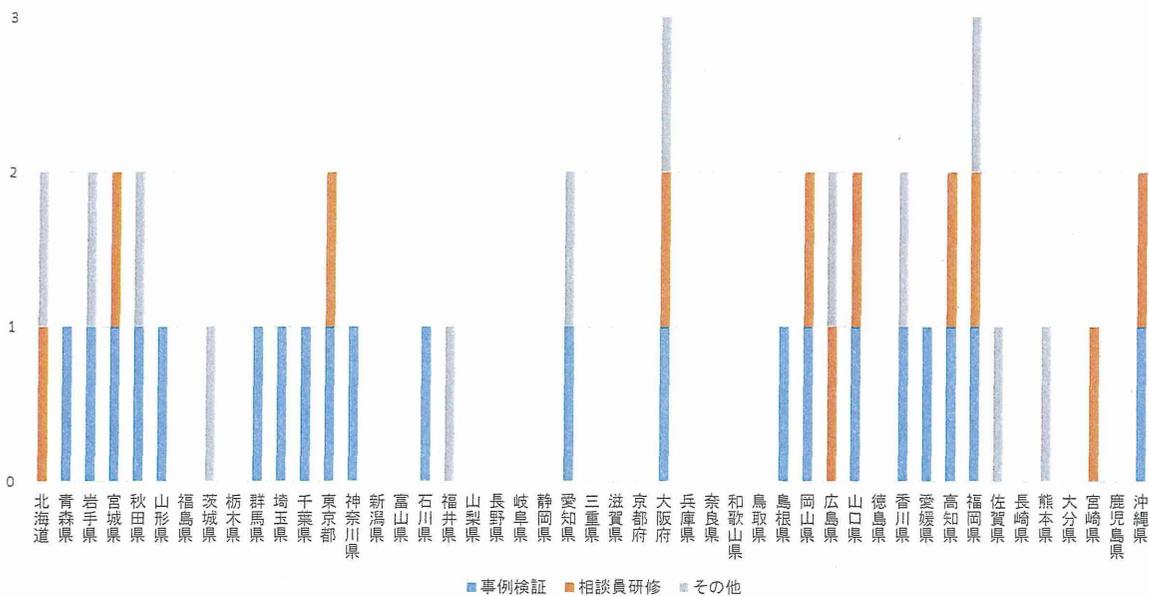
月別相談件数内訳



### 協議会構成員内訳



### 協議会運営内容内訳



I 総括研究年度終了報告

資料② 第28回小児救急医学会 ランチョン講演

## ランチョン講演報告

第28回日本小児救急医学会学術集会の会期中（日時：平成26年6月7日土曜日12:00～13:00、場所：パシフィコ横浜）において、「小児救急電話相談 対応のコツ」と題して、研究班に所属する小児系の各領域の専門医による講演をおこなった。

講演を開催した目的の一つは、医療関係者に対する#8000事業の啓蒙であり、もう一つは、研究班で作成した緊急度判断支援ソフトウェアの紹介・普及である。当日の参加者や230名、その内、携帯電話を用いてアンケート調査に参加した人数は、102名であった。

参加者の多くは看護師であった。アンケート調査は、各分野の専門医から日常よく診る疾患の緊急度判定をどのように考えるかを選択肢から選ぶ形式でおこなった。もちろん、緊急度判定の手助けとなるマニュアルが手元にない状況で、各自の主観・経験に基づいて回答する状況であったが、緊急度判定に大きなばらつきがあることがわかった。このようなばらつきを解消することに、研究班の作成した緊急度判断支援ソフトウェアが有効活用できるものと考えた。

また、緊急度判定に大きな差があることを、多くの看護師が認識できたことはよかったのではないだろうか。研究班においては、その差が地域格差によって生じたものなのかにも配慮しながら、判断の均一性を図るための方策を提示していく必要を感じた。



会場内の写真

# 第28回日本小児救急医学会学術集会

## ランチオン講演

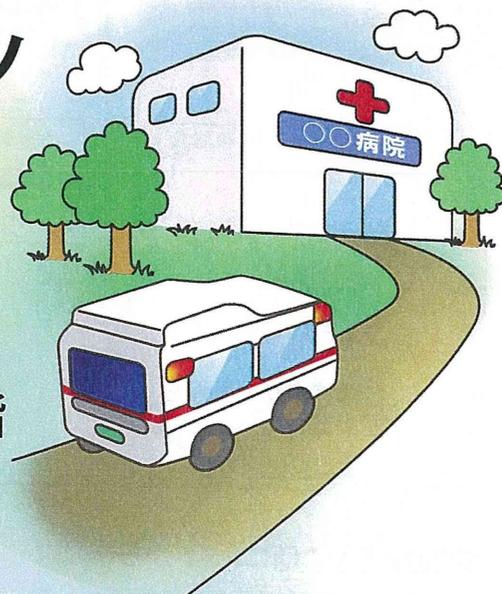
### 小児救急電話相談 対応のコツ

日時：平成26年6月7日(土曜日)

12:00～13:00

場所：パシフィコ横浜アネックスホール2階

B会場 (F203・F204)



皆さんのお持ちの携帯電話を使って講師の質問に答えるクイズ形式のセミナーです。

頭をぶつけて、嘔吐したけど  
受診した方がいいのかしら？



さて、あなたは緊急度を  
どのように判断しますか？  
その答えは会場で！



主催：厚生労働省科学研究費補助金  
地域医療基盤開発推進研究班

研究代表者 吉澤穰治